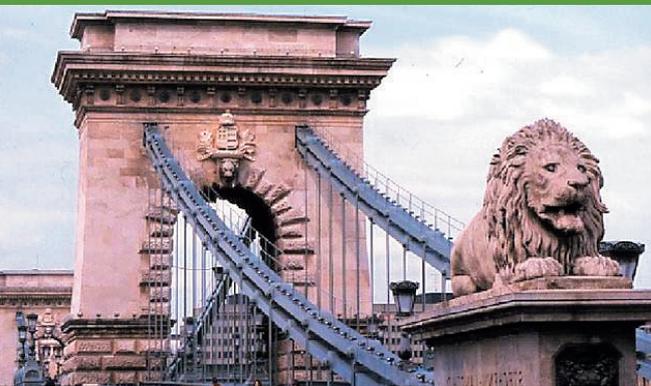


ハンガリー語専攻

🌐 ハンガリー語とハンガリー語が話されている地域の文化・歴史・社会について深く学び、ハンガリーだけでなくヨーロッパ全般への関心と理解をもち、将来大学で学んだことを生かして積極的に社会で活躍したいと願っている人を求めています。



ブダとペシュトを最初に結んだ橋「くさり橋」

ハンガリー語を専攻語として学ぶことができるのは、日本では本学だけです。ハンガリー語は最も新しい専攻語ですが、それでもできてからすでに20年が経ちました。その間に、日本とハンガリーの関係も大きく変わってきました。日本・ハンガリー両国の交流は、1989年にハンガリーが体制転換した少し前から、経済、文化その他さまざまな分野で急速に発展してきました。ハンガリーでの日本語学習熱の高まりもそのあらわれの一つです。ハンガリーは2004年5月にEUに加盟を果たしました。今後、両国の関係はますます発展していくことでしょう。きっと将来、皆さんのなかから、両国関係のさらなる進展に貢献する人が現れることでしょう。

ではハンガリー語とは、そもそもどんな言葉なのでしょう。不思議な言語だと言われることがあります。そう言われる理由は、ハンガリー語の文法構造や語彙が、他のヨーロッパの言語と比べて、かなり違っているからです。それで、ヨーロッパの人々から見ると、ときに不可解だと思えるようです。でもヨーロッパの外、たとえば日本から見れば、別に不可解なわけではありません。それどころか、日本語と似た点もあるのです。ハンガリー語では日本語の助詞(てにをは)と同じような働きをする要素(接尾辞)が用いられます。なお、ハンガリー語は系統的にはウラル語族に属しますが、ヨーロッパではほかにフィンランド語やエストニア語もウラル語族です。最初の2年間は、ハンガリー語の習得が勉強の中心になります。3、4年生になると、それぞれの興味にしたがって、ハンガリー語の言語学、文学、歴史などについて学ぶことができますが、そのときに、1、2年生のときに身につけたハンガリー語を活かすことが大切になってきます。

ヨーロッパの中で、ちょっとほかとは違う特徴をもった言語と文化を、皆さんも勉強してみませんか。きっと今までとはちがう新しい世界が見えてくることでしょう。

「ヨー・ナポト・キーバーノク」

Jó napot kívánok!

学生の声



4年 早崎 悠揮

Sziasztok! 皆さんハンガリーという国を知っていますか? 知らなければ人生の半分損をしていますよ! でもご安心ください。極一部ですがハンガリーについて紹介し、皆さんを魅力満載のハンガリーの世界へと招待します。

まず紹介するのは壮麗な首都ブダペストの景観です。ドナウ川河畔に位置し「ドナウの真珠」と称えられるこの都市は、中世の風情溢れる景観を今に残し、その中心部は世界文化遺産にも登録されています。王宮の丘から見下ろす夜景の美しさは正に驚異的です。つぎにサッカーの人気です。1950年代ハンガリーは世界最強国としてその名を轟かせ、マジック・マジヤールと呼ばれた古豪なのです。現在も人気で、ハンガリーが勝利すると街は狂喜乱舞。興奮したサポーターが公道を行進し大合唱、消防車はサイレンを鳴らして祝福するなど、街中狂気の熱気に包まれます。最後に美男美女の多さです。自ら世界一の美女大国であると豪語してしまうほどです。街を歩く機会があれば是非瞳孔全開で確認してみてください!

ではそんなハンガリーの言語を学ぶ私たちについて紹介します。1学年20人弱という少人数制で、自然と皆仲良くなります。縦のつながりの強さも私たちの自慢です。授業は語学のほかCMの吹き替えや映画の字幕作成、ガイドブックの製作など楽しいものが多数用意されています。また、政府からの奨学金は返済不要でほとんどの学生が留学します。こんなに貴重な経験ができるのはここだけです!



留学体験記



4年 本山 由佳

私は首都ブダペストにある語学学校に10ヶ月間留学をしました。ハンガリー語専攻で勉強していくうちに、美しいハンガリー語がどんどん好きになり、現地でハンガリー語をもっと上達させたいと思ったからです。この年、一緒に入学したメンバーのうち10人が5~10ヶ月の長期留学をしました。留学中は、学校の授業はもちろん、バスの中で電話している人の会話、車内アナウンス、街の看板など全てが勉強の材料になりました。

勉強以外でも、とても充実した時間を過ごしました。週末にはワインフェスティバルや伝統菓子のお祭りなど、いつも催しがあり飽きることはありません。また音楽が盛んな国なので、街にはたくさんの劇場があり、毎日オペラやバレエなどが行われています。学生であれば150円程で鑑賞できたので、月に一度はオペラ座へ行きバレエを鑑賞していました。首都以外の様々な町へも出かけ、外国人観光客が見当たらないような場所にも行きました。予約したホテルが潰れていたというハプニングもありましたが、ハンガリー語を勉強しているからこそ、町の人に助けを求め無事に楽しい旅行をすることができました。

留学を終えて、ハンガリーは私にとって第二の母国になりました。帰国して約1年が経ち、今はハンガリーでの生活がとても恋しいです。留学した全員がハンガリーのことをもっと好きになって帰って来ます。みなさんも私たちと一緒にハンガリーファンになってみませんか?

